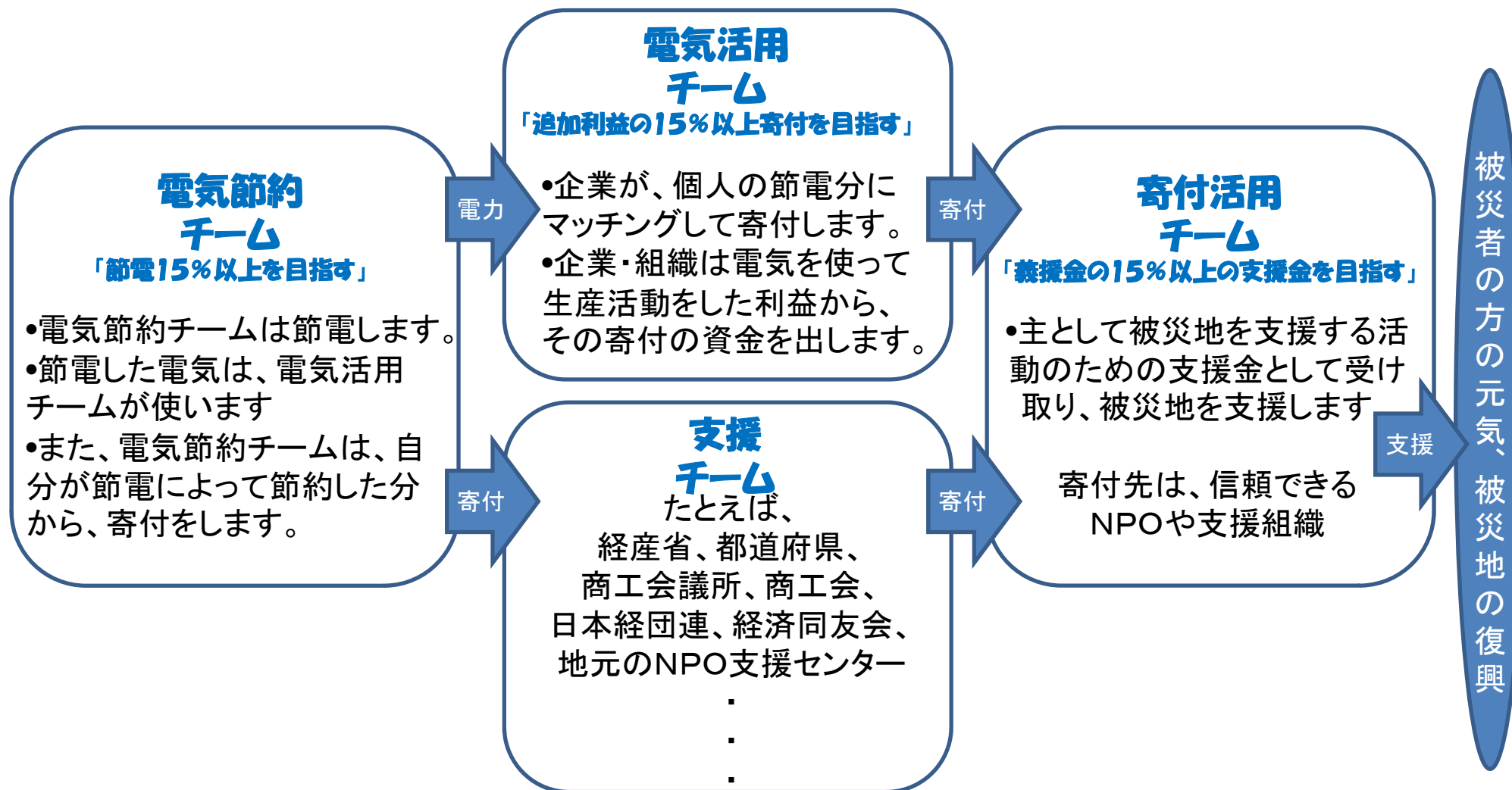


# 「チーム15%運動」による「電気の節約→電気の活用→寄付の活用」の三方一両得

①概要版

どうしても電気を沢山使わなければいけない会社に、あなたが節約した電気を使ってもらいませんか？  
あなたが節約した電気から、復興支援寄付金が生まれます。



電気節約チームが節電し、電気活用チームが電気を使うと、寄付がチャリンと増えて、寄付活用チームが活躍できます。節電で節約したお金と、電気を使った生産活動で増えたお金から、寄付を増やします。

# 「チーム15%運動」による「電気の節約→電気の活用→寄付の活用」の三方一両得

・個人・会社からなるチームが一つになって協力し、節電を行い、電気を必要な活動に提供して、社会にとっての利益を増やし、そこから寄付する余力を生み出して、被災地の復興に役立てるという三方一両得を実現する。

## ②節電・寄付促進版

### 電気節約チーム 「節電15%以上を目指す」 (個人、企業、組織)

電力

### 電気活用チーム 「追加利益の15%以上寄付を目指す」 (企業、組織)

寄付・  
資金

### 寄付活用チーム 「義援金の15%以上の志金を目指す」 (被災者、組織、NPO、ボランティア)

支援

#### 個人チーム

- ・個人の方に、運動に共感いただく。
- ・個人(や会社)がサイトを訪れ、節電についての質問項目に応え、誓約・宣言する。
- ・「企業が活動し寄付し被災地が復興する」ことを理解いただき、節電努力をお願いする。
- ・節電効果は、仮定になるが数値で提示。
- ・節約分から寄付もしていただく。

#### 節電宣言サイト

http://

- 私は節電活動をします。
- ・契約アンペアを□□から□□にします。
  - ・エアコンは□□度にします
  - ・緊急放送があったら電気機器を消します
  - ・電球を白熱電球をやめて、LEDに、  
できなければ蛍光灯に変えます。
  - ・私は夏の間、□週間、西日本や北海道、  
海外に行きます。

・なお、私の昨年7月□日から8月□日までの使用電力量は□です。

あなたの節電によって、瞬間最大電力は1.5kW(20%)節約され、7~8月の電力量は50kWh(30%)節約されます。これは基本料金300円と電力量料金500円の節約になると同時に、GDPが1000円増え、被災地への志金が100円増えると想定されます。

この企業や組織は、△15%を越えて利用した電気により、社会・顧客への責任を果たすための活動をし、雇用を維持し、利益を生み、寄付等により社会に還元する。寄付額は、△15%を越えて利用したことにより得られた追加的な利益からの志資金。



通信会社



鉄道



病院



半導体、電子機器、  
など多くの企業

※原則、500kw以上の大口需要家を対象

- ・被災地支援のための組織、NPO、ボランティアは、企業からの志金を受け取り、被災地を復興させ、元気づける。
- ・被災者への義援金にすることもできる。



支援組織・NPO



ボランティア

支援活動



被災者の方の元気、被災地の復興

#### 企業チーム

- ・企業も、経団連、同友会のリードのもと、自家発導入や工夫で25%の節電を目指す。節約分があれば寄付。



宣言者別  
節電情報

チーム認証

寄付

寄付増加情報  
メンバー認証

中間団体  
(業界団体やNPO)

節約分を寄付

賛同

チーム認証

節約分を寄付

寄付など

#### イメージ

- ・ワンクリック募金のように、企業がマッチングをする。
- ・kWとkWhあたりの寄付額を決めておき、
- ・節電宣言者の節電状況によって決まるkW削減想定幅によって金額を決め、寄付を団体が被災地に送る。
- ・事前に、賛同する企業・組織を集める。
- ・そのなかで、電力を15%以上使うことになっている企業・組織から、宣言募金の金額に対応する寄付をしてもらえるようにとりつける。
- ・賛同企業のうち節電側の努力を行う企業は、節電努力を行う宣言をする。もちろん寄付協力も歓迎。

# 「チーム15%運動」による「電気の節約→電気の活用→寄付の活用」の三方一両得

・個人・会社からなるチームが一つになって協力し、節電を行い、電気を必要な活動に提供して、社会にとっての利益を増やし、そこから寄付する余力を生み出して、被災地の復興に役立てるという三方一両得を実現する。

## ③余剰電力入札版

### 電気節約チーム 「節電15%以上を目指す」

(個人、企業、組織)

- ・個人の方に、運動に共感いただく。
- ・個人(や会社)がサイトを訪れ、節電についての質問項目に応え、誓約・宣言する。
- ・「企業が活動し寄付し被災地が復興する」ことを理解いただき、節電努力をお願いする。
- ・節電による効果は、仮定になるが数値で提示する。
- ・節約分から気持ちで寄付もしていただく。

節電宣言サイト

<http://>

私は節電活動をします。

- ・契約アンペアを□□から□□にします。
- ・エアコンは□□度にします
- ・緊急放送があったら電気機器を消します
- ・電球を白熱電球をやめて、LEDに、  
できれば蛍光灯に変えます。
- ・私は夏の間、□週間、西日本や北海道、  
海外に行きます。

・なお、私の昨年の7月□日から8月□日までの使用電力量は□です。

あなたの節電によって、瞬間最大電力は1.5kW(20%)節約され、7~8月の電力量は50kWh(30%)節約されます。これは基本料金300円と電力量料金500円の節約になると同時に、GDPが1000円増え、被災地への志金が100円増えると想定されます。

・企業も、経団連のリードのもと、自家発導入や工夫で25%の節電を目指す。節約分から気持ちで寄付もいただく。



### 電気活用チーム 「追加利益の15%以上寄付を目指す」

(企業、組織)

この企業や組織は、△15%を越えて利用した電気により、社会・顧客への責任を果たすための活動をし、雇用を維持し、利益を生み、寄付等により社会に還元する。寄付額は、△15%を越えて利用したことにより得られた追加的な利益からの志資金。



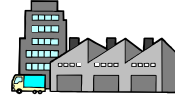
通信会社



鉄道



病院



半導体、電子機器、  
など多くの企業

※原則、500kw以上の大口需要家を対象



### 寄付活用チーム 「義援金の15%以上の志金を目指す」

(被災者、組織、NPO、ボランティア)

- ・被災地支援のための組織、NPO、ボランティアは、企業からの志金を受け取り、被災地を復興させ、元気づける。
- ・被災者への義援金にすることもできる。



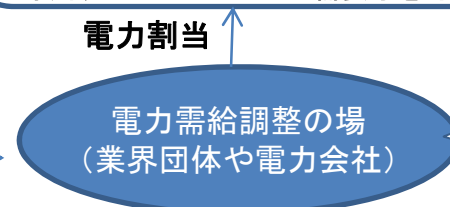
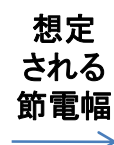
支援組織・NPO



ボランティア



被災者の方の元気、被災地の復興



寄付など

**電力需給調整の場での調整方法イメージ**  
(想定余剰電力・電力量があるとして、)  
電力供給力想定が、△15%を越えて余裕がある場合に限られるが、①家庭(低圧)部門からの余剰の場合、②自家発余剰の場合がある。割り当て方法は、  
選択肢①: 電力・電力量あたり寄付額が高い会社から、優先順位で利用してもらう。  
選択肢②: (本質は①と同じだが、) 電力・電力量あたりの価格を高くつけた会社に電気を利用してもらう。基準価格より高い支払分は寄付等に回す。  
※電気事業法27条を適用しない形が必要